

2020年春、モアコスメティックスは、創業25年を迎えます。

# 「安全・安心」にこだわった化粧品づくり 「変えない」「変わらない」ことに価値があります。

「肌に刺激があるものは一切使わない」「スキンケアのなかで『洗う』ものがいちばん大事」、四半世紀そう言い続けてきたのが、モアコスメティックスの創業者、亀田宗一社長。ぶれない化粧品づくりの原点に迫ります。

## 肌や髪を傷めないのは お酢のシャンプーだけ

「『シャンプーで肌は変わる』  
の反響は想像以上でした」

そう語るのは、来る2020年、創業25年を迎えるモアコスメティックスを立ち上げた、亀田宗一社長。2019年8月に刊行された著書は、全国書店で平積みされる話題の一冊となり、読者が美容室に、「このシャンプーを置いてほしい」という声を多数寄せているのだそうです。この機会に、亀田社長に、お酢のシャンプーを開発し、アレルギーゼロを目指してきた闘いの25年を語ってもらいました。

——モアプレス、バーデンス通信のバックナンバーを見ても、25年、言い続けてきたことが変わらないことに驚いています。亀田宗一社長（以下略）「私と同じアレルギーやアトピーで悩む人を救いたい、そのためには硫酸系の洗浄剤をやめなければいけない、代わりとなるのはお

酢以外にはない、ただそれを信じて研究してきただけです。

毎日使うものは、安全・安心でなければいけないのです。安全・安心が担保されていないければ、どうしてお客さまにすすめてできますか？ そんな普通のこと、この化粧品業界（理美容業も含む）では普通ではなかったということです。だれも、毎日使っているシャンプーが肌を荒らし、タンパク変性させて脱毛まで誘発していることを知りません。その元凶が硫酸系やアミノ酸系の洗浄剤なのですが、25年たってもその危険性にはフタがされたまま。まずはそのフタをこじあけて、知ってもらうことが大事でした」

——その役割をサロンにお願いしたということですね。

「そうです。一切他社のシャンプーは扱わないバーデンスサロンにお願いしたのも、硫酸系とアミノ酸系を併用されてしまっただけでは、お客さまの髪や肌を保証することはできないからです。

お酢系のバーデンスシャンプーは、唯一肌や髪を傷めないシャンプーであることが、きちんとデータで証明されています。

一般のシャンプーは、『頭皮に異常があるときは使わないでください』と明記していますが、バーデンスは『キズ・ハレモノがあるときに使ってください』という商品です。それだけ刺激がないことは、特許でもデータからも、お客さまの声からも自信をもっています」

## 正しい肌&髪ケア情報の 発信はサロンから

——シャンプーも化粧品もリ  
ニューアルされませんか。

「私たちは、アレルギーで悩んでいる人に届けたいのです。アレルギーの人はとても敏感です。そのために、処方を変更しないのです。消費者は、リニューアルはバージョンアップと思っていますが、正しくは目先を変えただけにすぎません。だから、リピートされない、また新しいものが出たらそちらに目移る、その繰り返しです。しかし、モアコスメティックスは違います。プラチェからバーデンスにブランド変更したときも、ラウレス-3酢酸ナトリウムから洗浄剤をラウレス-3酢酸アミノ酸に替えただけで、処方はずっと変えていません。だからリピートしていただけるのです」

——20年、同じ処方ですね。

「化粧品も、コンセプトも処方も変わりません。ずっと同じこ



創業時の本社・工場（大阪府堺市）



現在の本社・工場（大阪府堺市）

とを言い続けてきました。最近では、他社でもプロテクトするとか、界面活性剤不使用とか、カチオンフリーとか化粧品には刺激になる成分が含まれていて、うちのは安全だといわんばかりの宣伝がされています。そもそもその情報が間違っている場合もあって、消費者を惑わすようなものまであります。正しい情報を伝えていただくのもサロンにお願いしています。

バーデンスサロンは、正しいシャンプー・化粧品情報を伝えてくれる、地域密着のクリニックサロンになってほしいのです」  
——変えないこと、変わらないことの素晴らしさがよくわかりました。最後に、山登りに例えると、亀田社長はいま何合目で

ですか？  
「まだ3合目です。やっとスタート地点に立ったようなものです。ここから登山口がいくつもあって、いろいろなルートでアトピー・アレルギーゼロを目指すつもりです」

## モアプレス No.6 (2004年2月)



「多くのメーカーは10人のうち8人がトラブルを訴えなければそのまま使用。プラチェはこの2人が大事だと考えています」

## バーデンス通信 2019 秋号



「アミノ酸シャンプーが、敏感肌、アレルギー肌の方に特に毒性が強いことがわかったのが画期でした」

# 肌に刺激がある硫酸・アミノ酸の洗浄剤からお酢へ変えなければ本物の美肌は生まれない

## 他社が追いつけない モアコスメティックスの技術

25年前、モアコスメティックスは、亀田社長が開発したお酢系の洗浄剤「ラウレス-3酢酸ナトリウム」を配合したシャンプーの発売を開始しました。ブランド名は「ネジス」、「肌と自然にやさしい」をコンセプトに、お肌の弱い人に向けてサロンで販売されました。

「刺激があるものは、一切肌に髪に触れさせてはいけません。刺激を与えることで、肌があれ、毛が抜け、乾燥が進み、シミができる」と、モアコスメティックスは創業時から言い続けてきたのです。

「1970年代の後半、私が界面活性剤の会社に勤務している頃、当時の洗浄成分の主流だったアニオン界面活性剤の硫酸塩やスルホン酸塩の両方にかぶれて体が腫れてしまったんです。こんな危険なものを使ってはいけません、世界中から200種以上の界面活性剤を取り寄せました」(モアプレスNo.6より)

石けんで髪を洗うと石けんカスが残る髪がきしむことはわかっていますが、石けんの安全性を無視できない、と亀田社長は日本初の「弱酸性石けん」をつくることに着手。完成したのが、お酢系洗浄剤「ラウレス-3酢酸ナトリウム」です。

「ラウレス-3酢酸ナトリウム」を主洗浄剤としたシャンプーは、抜け毛が減り、髪の毛も頭皮も傷めることはありませんでした。毎日シャンプーを繰り返すサロンからは、手があれたという報告は一度もありませんでした。

なぜ他メーカーが追随しないのかというと、界面活性剤は急性毒性ではなく慢性毒性であるためトラブルが起きて原因が特定できないからです。同じように、このシャンプーは安全だといっても、肌や髪への効果はすぐに実感してもらえなかったのです。肌が弱く、いろいろな商品を使わずに悩んでいる人たちに使ってもらうためには、「き

ちんとデータで安全・安心を証明しなければいけない、すぐに効果を実感してもらえないものでなければいけない」と亀田社長は考えます。さらなる研究が続けられました。

## シミ・くすみをつくらない 新発想のモアパウダー誕生

もうひとつ、他メーカーとは大きく水をあけているものがあります。それはファンデーションのペース粉体技術です。

ファンデーションには、アスベストと似た構造のタルクが使われ、マイカ・セリサイトには金属塩が含まれています。それらを肌に直接触れさせては、刺激となってシミ・くすみになるため、ファンデーションと皮膚の間に、1枚皮膜をつくりましょうというコンセプトのもと「プロテクター」という化粧下地を創業時から発売しています。

「自然なものの中にも怖いものもあって、合成にもいいものがたくさんあるんです。それをわかっていただきたくてすべて合成で作ったのが『パウダーファンデーション』です」(モアプレスNo.1より)

いっそのことファンデーション革命と、すべて合成で肌に安全で機能的な新粉体「モアパウダー」を完成させ、ファンデーションを発売したのは2001年のことです。他メーカーも粉体の研究は続けていても、質感・使用感ばかりで、従来品を否定するような粉体の開発にまではいたしません。

女性のシミやくすみを訴える人は増える一方で、モアパウダーを使ったファンデーションを長年使ってきた女性たちは、若々しい白い肌を保っています。



## 商品と広報紙で見る25年HISTORY

1995年  
(平成7)

### モアコスメティックス創業

社員は亀田宗一社長1人とパート5人で業務をスタート。阪神大震災後でもあり、苦難の船出となる。

### ネジスブランド誕生

「お肌と自然にやさしい化粧品」をテーマにした、「ネジス」誕生。ラウレス-3酢酸ナトリウムを洗浄剤に使ったシャンプーを発売。



ネジス

2000年4月  
(平成12)

### 『ネジスニュース』創刊

モアコスメティックスがサロンへ向けて、初の広報紙となる『ネジスニュース』が発行された。



2002年10月  
(平成14)

### ブラチェブランド誕生と 『モアプレス』創刊

「ホワイトジェル」をはじめとする美白シリーズの発売に合わせ、「ブラチェ」ブランドを発売。



ブラチェ



2003年  
(平成15)

### ポイントシスター誕生

サロン専用ブランドとして、米発酵エキス配合の「ポイントシスター」シリーズ誕生。



ポイントシスター

2006年  
(平成18)

### ジュエキブランド誕生

「ジュエキ」の前身、白樺樹液100%配合化粧品「コイヴィッコ」がモアコスメティックス初のエイジングケアブランドとして誕生。



# ラウレス-3酢酸アミノ酸の発明から特許取得！ 世界へ発信した論文から書籍の刊行まで

## 24時間つけていられる 世界一やさしい洗浄剤誕生

創業の5年前、1990年に誕生した「ラウレス-3酢酸ナトリウム」。それから18年後の2008年、ついに亀田社長の研究の集大成となる洗浄剤が発明され、特許が出願されました。

完成したのは「ラウレス-3酢酸アミノ酸」。低刺激で泡立ちがよく、高い洗浄効果をもち、キシミもない、石けんよりもやさしい洗浄剤の誕生です。

新ブランドとして発売された『バーデンス スキャルプシャンプー』と『バーデンス スキャルプトリートメント』を使ってすぐに、その洗い上げりに、肌に髪に効果を実感する声が続々届くようになりました。

第三者機関で行った「24時間閉塞ヒトパッチテスト」の結果も自信につながりました。そもそも、1日つけっぱなしの化粧品ならともかく、洗い流すものを皮膚につけたままパッチテストをすることなどありえません。刺激のある硫酸やスルホン酸が使われているのですから肌に24時間つけっぱなしにすることなど考えられないのです。それを、モアコスメティックスはふたますするという手法を選択。シャンプー・トリートメントの両方が洗い流す必要のない基礎化粧品よりも低い皮膚刺激指数が得られ、世界一やさしい洗浄剤であることを証明したのです。

同じ年の8月、「ラウレス-3酢酸アミノ酸」が「低刺激性液体洗浄組成物」として特許を取得（特許第5057337号）。ついに、「安全・安心」をデータで証明することができました。

## 世界の化学者への提言 正しい刺激有無の見極めを！

モアコスメティックスのさらなる挑戦が続きます。「安全・安心」は証明された、しかし、日本のシャンプーの多くは硫酸系が使われ、肌の弱い人たちのあいだでは、「アミノ

酸系が肌にやさしい」といわれるようになっていました。実際、アミノ酸系は単体では洗浄力が低く、泡が立たないので、硫酸系洗浄剤を混ぜているものも多く見受けられます。

モアコスメティックスでは、「ラウレス-3酢酸アミノ酸」の低刺激をあらゆるデータで証明する研究が続けられました。肌の弱い人たちに使ってほしい、そのために、動物試験に代わる「ヒト3次元培養表皮モデル」（13日培養モデル）をやめ、「6日培養モデル」を開発し使用。これまでは健康な人を想定した人口皮膚モデルだったものを、バリア機能の低い、未熟な細胞をもつ、まさに弱い肌の人口皮膚で試験に挑んだのです。

その結果、「ラウレス-3酢酸アミノ酸」だけが細胞を殺すこともなく、タンパク変性もしませんでした。同様に試験した、「ラウレス硫酸」「アミノ酸系」の細胞生存率の低さは、研究者自身が驚くほどでした。

そして、その英字論文をアメリカ油化学会の『Journal of Surfactants and Detergents』（界面活性剤及に洗浄剤に関する学術雑誌）に投稿、瞬く間に掲載されたのです。

『「ラウレス-3酢酸アミノ酸」の低刺激は、特許やデータで証明されました。次は、世界の界面活性剤研究者や細胞研究者の方々が認める必要がありました』（バーデンス通信2019秋号より）

国内ではこれほどアレルギーやアトピーが増えているにもかかわらず、洗浄剤の刺激に目を向ける人が少なく、多くの人に耳を傾けてもらえないことを、強く感じているからこそその論文発表だったのです。

研究データや論文内容を詳しく記した亀田社長の著書『シャンプーで肌は変わる』が刊行されたのが、2019年8月。来る2020年は、肌・髪トラブルに悩んでいるより多くの方に手にとっていただいて、正しい髪と肌のトラブル解決法を知ってほしいと思います。

## 2007年12月 (平成19)



### バーデンスブランド誕生・ 『バーデンス通信』創刊

機能性化粧品「バーデンス」セルシリーズ誕生。それを伝える『バーデンス通信』が発行された。

## 2008年 (平成20)



バーデンス

### バーデンス スキャルプ シャンプー&トリートメント登場

ラウレス-3酢酸アミノ酸を発明し、特許を出願する。同時に、ラウレス-3酢酸アミノ酸配合のバーデンス スキャルプシャンプー&トリートメントを発売。

## 2012年8月 (平成24)



### ラウレス-3酢酸アミノ酸 の特許を取得

特許出願から4年、ラウレス-3酢酸アミノ酸が「低刺激性液体洗浄組成物」として特許（特許第5057337号）を認められる。

## 2015年7月 (平成27)

### 『シャンプーを替えれば肌が変わる』発行



亀田宗一初著書『シャンプーを替えれば肌が変わる』が刊行される。

## 2016年 (平成28)

### アメリカ油化学会学術誌に論文掲載



世界の化学者へ向け、ラウレス-3酢酸アミノ酸の低刺激を発表すると同時に、解明したラウレス硫酸シャンプー、アミノ酸シャンプーの刺激も発信した。

## 2019年8月 (令和元)

### 『シャンプーで肌は変わる』発行



アメリカ油化学会の論文を載せた、亀田宗一2冊目の著書『シャンプーで肌は変わる』が刊行。一般の肌あれに悩む読者から多くの反響が寄せられている。



# お酢を使った「バーデンス スカルプシャンプー」で髪・頭皮・肌をやさしく洗い、アレルギー肌ゼロへ!

## 家族みんなの髪・肌を護る健康美髪シャンプー

アレルギーは皮膚から入ります。細胞を殺さないラウレス-3酢酸アミノ酸配合の『バーデンス スカルプシャンプー』は皮膚のバリアを壊すことはありません。アレルギーを侵入させることがないので、アレルギーは起こらないのです。

タンパク変性も起きないので、健康な頭皮が生まれ、抜け毛が減り、健康毛が育ちます。

刺激はないのに、洗浄力が高く、泡立ちがいいシャンプーはバーデンスだけ。洗い上がりの

しっとり感、まとまり感、ボリュームまで実感できます。

赤ちゃんのお肌も、お父さんの髪の毛も護るシャンプーを、ぜひご家族でお使いください。

## 上質なハリとツヤを髪に与えるトリートメント

シャンプー後の髪質をアップさせる『バーデンス スカルプトリートメント』は、洗いが流さない基礎化粧品よりもやさしいことが証明されています。指通りをよくし、風合いを出すために使われるカチオン界面活性剤は、高い殺菌効果があり、肌の弱い人には刺激になります。



### バーデンス スカルプシャンプー

250mlボトル	2,000円(税抜)
500mlボトル	3,500円(税抜)
400ml詰め替え用	2,500円(税抜)
フィルムサンプル	

### バーデンス スカルプトリートメント

180gチューブ	1,800円(税抜)
500gボトル	4,000円(税抜)
400g詰め替え用	2,900円(税抜)
フィルムサンプル	

バーデンスは刺激を中和することで髪保護機能はそのままに刺激をなくしました。

シャンプー&トリートメント、

どちらにもセラミドポリマーとレシチンポリマーが配合されていますから、髪にはハリとツヤが生まれます。



# バリア機能が回復した肌を、〈洗う〉〈補う〉〈護る〉でさらに美しく健康に育てる「バーデンス セルシリーズ」



180ml  
5,600円(税抜)



100g  
4,000円(税抜)



120ml  
5,200円(税抜)



30ml  
7,000円(税抜)



30g  
12,000円(税抜)



30ml  
7,000円(税抜)

## STEP 1 〈洗う〉

- ①セルディープクレンジング
- ②セルクリアフォーム

## 汚れはやさしく落としてうるおいはそのまま

〈洗う〉は、スキンケアで最も重要なステップです。『セルディープクレンジング』は、肌へのやさしさを最優先。メイクをなじませた後の水洗いで、肌の上でメイクを包み込むように液晶ジェルを形成する特殊な液晶系クレンジング処方を採用しています。

クレンジング後に、また朝の洗顔には、『セルクリアフォーム』をご使用ください。皮膚への負担となるアルカリ剤を最小限に抑えた、皮膚を傷めずに洗い上げる低刺激フォームです。

## STEP 2 〈補う〉

- ③セルパーフェクト エッセンス LV1・LV2
- ④セルパーフェクト リクイド
- ⑤セルパーフェクト クリーム

## レシチンポリマーの極上のうるおいを実感

Step 1 〈洗う〉でクリアになった肌に、〈LV1:整肌用〉〈LV2:保湿用〉の2タイプから選べる『セルパーフェクトエッセンス』で肌にたっぷりの水分を与えます。

次に、高保湿成分レシチンポリマーを高濃度に配合した『セルパーフェクトリクイド』でしっかりとした保護膜を形成。肌の奥にうるおいを届けます。

最後に、『セルパーフェクトクリーム』でセラミドなど肌に必要な油分を補給。乾燥を防いで、シワやタルミに働きかけます。

## STEP 3 〈護る〉

- ⑥セルプロテクター

## 乾燥、金属塩、色素……あらゆる刺激をプロテクト

セラミドポリマーを高配合した『セルプロテクター』の優れた擬似バリア機能が、あらゆるお肌の外敵から、しっかりとお肌をプロテクトして護ります。

角層に類似した保護膜(セラミドネットワーク)を瞬時に形成する『セルプロテクター』は、第二の肌そのものです。

朝のメイク前に使用することで、メイク用品に含まれる金属塩や色素を肌に触れさせないため、シミ・くすみ、肌あれを防いでくれます。